

お客様ご活用事例

特例子会社/印刷業

株式会社  
西友サービス

## 「外注に負けない仕事が、 ウォルマートグループの 印刷工場としての誇りです」

株式会社 西友サービス

職場適応援助者（ジョブコーチ）

なみひら けんじ  
波平 謙司氏



### Before 課題

- 増加するカラー印刷ニーズへの漏れのない対応
- 締め切りに追われて発生する夜間残業の解消
- 障がい者にとって使いやすい設備と職場環境の提供

### After 成果

- 受注能力の拡大と協力会社によるバックアップ体制の実現
- カラー印刷の生産性向上による夜間残業の減少
- 誰にでも分かりやすい設備とゆとりある職場環境の実現



■商号  
株式会社 西友サービス

■本社・工場  
〒350-0838 埼玉県川越市宮元町23-1  
川越食品流通センター内

■資本金  
2,000万円（100%合同会社西友出資）

■創業  
1992年1月（平成4年）

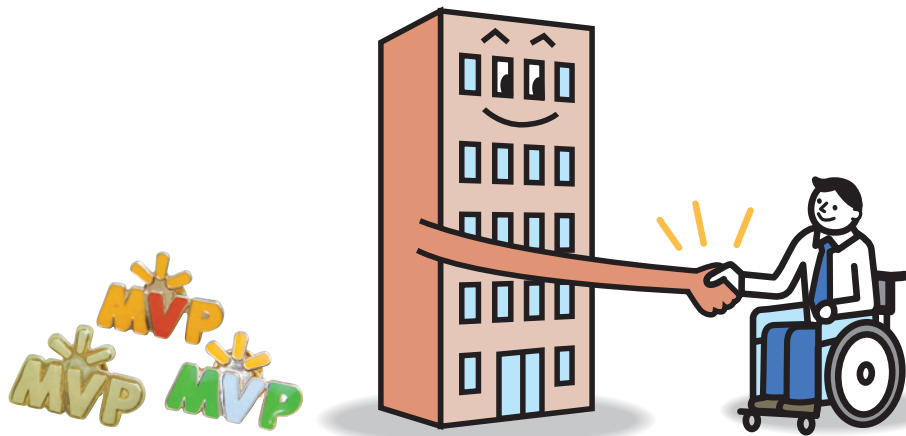
■従業員数  
120名

■工場設備  
RICOH Pro C901  
Color DocuTech60、DocuCenter f1100GA、  
700DCP、bizhub PRESS C7000P

■主な得意先（順不同、敬称略）  
日本各地の西友、ウォルマートグループ店

■主な印刷物/業務  
POP、コーナーサイン、業務連絡書、名刺、パンフレット  
広告等製作、印刷・製本、畜産物の包装加工、クリーニング、  
事務代行、メール仕分け、用度品管理仕分け、マッサージ

特例子会社として甘えないこと。  
グループ内の印刷部門として自立すること。  
そのためには、素人でも扱える印刷機が不可欠です。



職場適応援助者(ジョブコーチ) 波平 謙司氏

写真:MVPバッジ  
ゴールドMVPは、ウォルマートグループ内での勲章。  
2009年、年間MVPとして広告制作チームが表彰されました。

## ウォルマートグループ、西友の 特例子会社

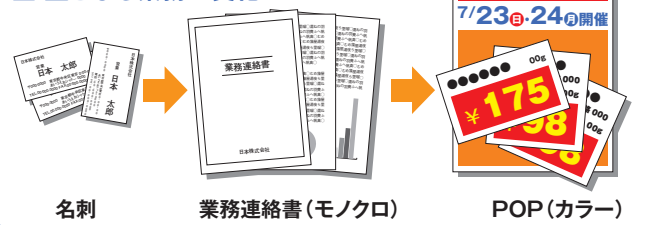
1992年に設立された株式会社西友サービスは、ウォルマートグループ西友の特例子会社として、鶏肉のパッキングから、クリーニング、総務・人事の事務など幅広い業務を請け負っている。1995年には、名刺制作から印刷業務をスタート。現在、職場適応援助者を担当している波平ジョブコーチは、当時からの状況を話してくれた。

「特例子会社の印刷部門としてはじめて名刺制作が認められ、当時増加傾向にあった業務連絡書の印刷を担うことになりました。何しろ本社から各店への業務連絡の量は膨大にあり、ピークには月に200万枚以上を印刷していたほどです。自ずと仕事は、モノクロ印刷が中心となっていきました」

しかしE-mailの普及により、紙の業務連絡書は年々減少。モノクロPOD機の稼働率も下がっていくなか、マーケティング本部からPOP制作を依頼される。

「関連のスーパーではPOP制作を外注しており、本部から外注と同じコストでPOPを制作できないかという話がありました。早速受けてやってみると、業務連絡で培ってきた効率的な配送システムもあり、最初からそれなりの利益がでたのです。まさに、チャンス到来。それからは積極的にPOP制作を受け、西友サービスの広告制作部の中心はモノクロ業務連絡書からカラーPOP制作へシフトしていきました」

### ■ 主となる業務の変化



### 業務の変化により 印刷部門の課題が浮き彫りに

本部からその仕事内容を認められた西友サービスには、カラーPOPへの依頼が増加し、さらなるスピードアップも求められるようになってきた。同時に中心となる業務の変化によって、課題も明らかになってきた。

- ① 毎日やってくる締め切り時間に追われる作業
- ② モノクロ印刷の激減とカラー印刷需要の増加
- ③ 納期要求に応えるための夜間残業

「カラー印刷への需要や、障がい者の夜間作業軽減のためには、より高速なカラーPOD機の導入が急務だと感じていました」波平ジョブコーチをはじめ、広告制作部のメンバーは、最新POD機の情報収集に動いた。

## 導入を決定づけたのは プリンティングイノベーションセンターでの印刷評価

2011年2月、西友サービス広告制作部のメンバーは、総合展示会「Page 2011」のリコーブースではじめてRICOH Proに出会う。

「実際に見て説明を受けてみると、予想以上に良かった。操作性もカラー品質もよく、何よりスピードの速さが魅力的でした」と語る広告制作部の住友玲二部長。



広告制作部部長  
住友玲二氏

「RICOH Proは入替え機の候補となり、実際に西友サービスの印刷物を出してみたい。そこで、使用している紙をリコーさんのプリンティングイノベーションセンターに持ち込み、印刷テストをさせていただきました。結果は上々、予想以上でした。これまでの経験では、POD機は安定して稼働させるまで1ヶ月くらいかかります。それがデータを持ち込んで、すぐにイメージ通りに印刷できたわけですから。厚紙のマット紙でさらにびっくり。本当に印刷スピードが落ちないですね」この評価によって、一気にRICOH Pro導入が決定した。

## カラー印刷の内製化を推進し、 高速出力で印刷と発送にゆとりを実現

「1分間にA4カラー90枚というのは伊達ではありません。RIP速度も含めスピードには非常に満足しています。これまで大量印刷受注時には、障がいを持つ社員も交代で夜中まで作業していましたから、とても助かっています」

西友サービスは「川越食品流通センター」という物流の拠点に所在し、この特長を活かし、外部ではまねのできない超短納期に対応している。通常は中1日だが、セール価格などはギリギリのスケジュールで受注することも。

「毎日が締め切りです。朝受けて午後2時30分の発送に間に合わせるといった超短納期もしばしば。POD機には、印刷スピードと保守のスピードと安定性もとめられますが、その点でもRICOH Proは合格点をあげていいと思います」

導入後大きなトラブルは全くなく、電話によるサポート対応でも高い評価を受けたRICOH Pro。印刷を早く仕上げ、発送にゆとりをもたせる。業務改善は着実に進んでいるようだ。また、協力いただいでい

### ■ 朝受注し、午後2時30分発送という超短納期にも対応



毎日午後2時30分、全国の店舗へ発送

る印刷会社にC901を設置し、納期に対して万全なバックアップ体制を整備している。

「年末には『お客様感謝デー』などのイベントに合わせ、コーナーサインが一度に4,000枚ほども必要になるのですが、厚手のマット紙を使用するため印刷に時間がかかり、従来は徹夜作業でした。RICOH Proならこの作業であれば、40%の時間短縮ができるはず。今からたのしみです」住友部長の期待は大きい。

## 障がい者が使いやすいということは 健常者が使いやすいということでもある

優遇は一切なく、特例子会社といえども企業として利益を追求しなければならぬという企業方針のもと、広告事業では順調に利益を出しつづけている。RICOH Pro導入後の7月以降は、さらに利益率が向上した。

「我々にはウォルマートグループの印刷工場であるという自負があります。特例子会社であっても外注に負けない仕事でなければなりません。そのためには素人も扱えるPOD機が不可欠なのです。障がい者にも分かりやすい操作で、イメージ通りの印刷が可能であること。これをRICOH Proが実現してくれたとっていいでしょう」と語る、波平ジョブコーチ。

RICOH Pro導入後、広告制作部では

- 分かりやすいグラフィックインタフェース
- 操作しやすいタッチパネル
- 再開がすぐのできる一時停止/再開ボタン
- 光と音で異常を知らせるオペレーターコールライト
- 後工程への移動が楽な紙揃え機能

といった部分に、これまでにはない使いやすさを感じたという。

「機械が進化することで、印刷は誰でも行える業務になり得ます。障がいを持った人でも、これまで外注していた書類やパンフレットが印刷できるのです。PODによる印刷は、会社にとって思いもよらない宝箱みたいなものです」好調は、さらにつづいていきそうだ。



## 現場から見たRICOH Pro

まず自分が操作を覚え、  
メンバー全員で共有する。  
助け合いの気持ちで仕事をしています。

広告制作部サブマネージャー けんもち りん 剣持 陸敏氏

広告制作チームのまとめ役でもある剣持氏は、RICOH Pro導入によって生産性が全体で約2割向上したという。「主にスピードアップのおかげです。トラブルもなく本当にいい印刷機だと思っています。しかし私たちの職場ならではのかもしれませんが、スピードやクオリティと同じくらいうれしい部分が多くあります。たとえばオペレーターコールライトですが、紙切れやトナー切れなど異常時に赤く点灯し音でも通知。視覚に訴えてくれるため、聴覚が不自由なメンバーも確実に対応できます。操作パネルは対話式で誰にでも分かりやすく、一時停止/再開ボタンは、再開がすぐにできるため

便利です」

剣持氏は、リコーの営業が月に1度訪問し開催している定例ミーティングも高く評価している。「売りっぱなしではないサポート体制には好感が持てます。活用のためのアドバイスも役に立っています」

チームのメンバーは、パートメンバーも含め10名ほど。目や耳や脚など不自由なところはさまざまだが、剣持氏は適材適所で配置している。

「このチームは仲がいいとよくいわれます。障がいを持つ者同士ですから、互いに助け合う気持ちが強いのかもしれません」



フィニッシャーの紙揃え機能が、  
私のお気に入りです。

広告制作部 かわさき しょう 川崎 庸氏

「本部からのPOP制作データの管理が私の主な仕事です。面付データでくることがほとんどなのですが、不備などをチェックし、印刷へ回しています。POPの種類が増えた場合は、DTPソフトを利用し貼付けワンドキュメントにして出力することもあります」  
イラストレーションの腕前にも定評がある広告制作部の川崎



氏は、RICOH Proについて、「フィニッシャーの紙揃え機能には、ちょっと感動しました。その精度も高くエアーで再度紙揃えする必要がないと思えるほどです」と、高く評価してくれた。



**RICOH**  
imagine. change.

株式会社リコー  
〒143-8555 東京都大田区中馬込 1-3-6

<http://www.ricoh.co.jp/pp/pod/>

リコー製品に関するお問い合わせは下記のダイヤルで承っております。

リコーテクニカルコールセンター イチイチイチ **0120-892-111**

●受付時間：平日(月～金)9時～17時(祝祭日、弊社休業日を除く)  
※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただきます。  
※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告無く変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。  
<http://www.ricoh.co.jp/contact/>  
■リコーにご提供いただいたお客様の個人情報の取り扱い方針については、当社ホームページでご確認いただけます。

このカタログはRICOH Pro Cシリーズで印刷しています。

●お問い合わせ・ご用命は・・・

このカタログの記載内容は、2016年2月現在のものです。

1110S-1602<34211571>5/P